

労使研

労使関係研究協会

〒105-0014
東京都港区芝2-20-12
友愛会館9階
一般財団法人日本労働会館内
TEL. 03-3453-5386
FAX. 03-3451-1710
<http://roshiken.net/>
roshiken@rodokaikan.org

「情報」第65号 2024年1月

賀正

本年もよろしくお願ひ申しあげます



2024年 新年のご挨拶

一般財団法人日本労働会館
代表理事 宮本礼一



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様方におかれましては格別のご厚情を賜り深く御礼申し上げます。さて、世界的に猛威を振るった2020年春先からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響も薄らぎ、昨年は復調に向けた1年でした。

当財団が運営する宿泊事業(旧ホテル三田会館)の業績が著しく悪化し、一時は財団運営の根幹を揺るがすほどの危機的状況に陥りました。しかし、コロナ禍も収束傾向が見え、2023年4月にホテル運営の外部委託(現ローズステイ東京芝公園)化を実行したことにより、今では円安による海外からの訪日外国人数の急激な回復などもあり、宿泊事業改革は順調に進んでおり、財団運営は安定的に推移しています。

公益目的事業では、友愛労働歴史館の入館者数は新型コロナ禍3年間の入館者数はほぼゼロであったにもかかわらず、開館以来13,000人余を数え、友愛労働運動の歴史を学ぼうと来館される方は今も堅調に推移しています。

友愛労働歴史館は2012年4月に開設され、一昨年は満10年の年でもありました。開設10周年を記念する企画展示やイベントなどを催すことも検討していましたが、新型コロナ感染症が及ぼす様々な影響を考え、残念ではありましたが記念イベント等の実施に至りませんでした。

また、当財団が内閣府に届出ている公益目的支出計画では、当財団が国より預かっている公益事業財源の3億6千万円を12年かけて完全消化することになっています。2012年4月よりスタートした友愛労働歴史館事業および労使関係研究協会事業は、大きな支障がない限りは2025年3月末には無事終了できる見通しが立っています。これも関係各団体や個人の皆様方のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

来(2024)年度が公益目的支出計画の最終年度となりますので、事業計画完遂に向けて最後まで気を緩めずに精進して参る所存ですので、引き続きのご高配を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は当財団の事業資源と財政支出の集中化を図ることが必要と判断し、公益事業の一つでもあります労使関係研究協会関西支局の閉鎖という苦渋の決断を行いました。関西支局は、西日本エリアの関係団体や個人の皆様方に友愛労働運動を基調とする労使関係の歴史を伝承することを目的に30年余の活動を展開して参りました。残念ながら関西支局は閉鎖することになりましたが、これまでと同様に健全な労使関係を基調とする労働組合運動の今後の発展に資する取り組みを進めて参ります。

今年は辰年でもあることから、竜が水や雲を得て力強く飛躍するがごとく、持てる力を存分に発揮し、働く者全ての方々の幸せに寄与する一年として参りますので、旧年にも増して関係団体や個人の皆様方のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

友愛労働歴史館の活動

I 展示会・講演会活動について

1. 展示会活動

(1) 常設展

展示会活動は通年での常設展を開催している。

「日本労働運動の100年余-友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は、2012年8月1日のオープン以来、原則同一内容で開催している。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という格言から、労働運動の歴史は不変であるとの思いから常設展を開催している。

来館者の推移をみると、2023年1月24名、2月73名、3月13名、4月72名、5月120名、6月279名、7月384名、8月61名、9月95名、10月122名、11月54名、今年11月まで通算(1月～11月)1,297名が来館した。

新型コロナに関わる規制緩和とともに団体見学も回復傾向であるが、元に戻る気配はない。また、コロナ禍の規制緩和の中でも団体移動に懸念する組織から出張講演を望む声が大きくなり、2022年1月より出張講演を積極的に受けることにした。そして、出張講演の受講者数を来館者数に加味することとした。出張講演受講者数は今年1月～11月で全体の71.3%にあたり、延べ1282名に及ぶ。

2012年8月1日の新装オープン以来の延べ入館者数(名)は、12,683名(2023年11月末日現在)となった。

(2) 出張講演

前期から賛同会員の組織等からの講演依頼については積極的に受けている。コロナ禍で集団移動に懸念をする組織が多く、出張講演は好評を得ている。今年11月までに13団体から依頼を受けた。8月以降実施した講演は以下の通り。

8/29(火)～31(木) 出張講演・UAゼンセン流通部門・惟一塾(逢見直人塾長・(函館)13名

9/26(火)～27(水) 出張講演UAゼンセン・ベルジョイス労働組合(盛岡)74名

10/28(土) UAゼンセン大分県支部・第12回定期総会開催にて、常設展示の「日本労働運動の100年余」講演 98名

11/27 UAゼンセン流通部門DCMユニオン 40名



II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料の収集・管理に取り組んでいる。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

◆資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）と連携し、①友愛会から総同盟・同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から社会党・民社党までの民主的社会主义運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアン教会・惟一館（現友愛会館）ゆかりの社会運動に関する資料の収集・管理に取り組んでいる。

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は、インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページ・公式Xでの情報提供・PRなどに取り組んでいる。また、研究者・学生等への相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

IV その他

社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）の2023年度第38回定期総会と研修会が、11月6日～7日、ラポール京都で開かれた。

初日は、総会を開催。2022年度活動報告の確認、2023年度の事業活動の確認などを行った。その後、立命館大学国際平和ミュージアムを研修見学。二日目は、京都府立京都学・歴史館で研修・見学。また、京都府庁旧本庁舎等も見学した。

労働資料協は労働運動や社会運動の資料の保全・リユース等に取り組む団体で、大原社会問題研究所・連合資料室・東京都労働資料センター・同志社大学人文科学研究所・大阪産業労働資料館（エル・ライブラリー）など23の加盟機関と個人会員から構成されている。

東京観光・出張・研修・受験の宿泊は
ローズステイ東京芝公園をご利用ください
(旧三田会館)



ローズステイ東京芝公園
公式WEBページ